



2022.7.21<計 2 枚>

報道機関 各位

京都橘大学広報課

**経済・経営学部の混合チームで、
オープンイノベーションカフェ「KOIN(コイン)」の活性化アイデアを提案
—新たなベンチャービジネスを生み出す創造的な場を目指して—**

日時: 2022年7月26日(火)11:00~13:00

場所: 京都経済センター3階 KOIN

京都橘大学経済学部・経営学部からなる学生チームが、7月26日(火)に京都経済センターにて、同センターに設置されているオープンイノベーションカフェ「KOIN(Kyoto Open Innovation Network)」の活性化についての提案を行います。

この取り組みは、「クロスオーバー型課題解決プロジェクト」という正課授業の一環で行うもので、オープンイノベーションカフェ「KOIN」の活性化に向けてのアイデアを、設置主体である一般社団法人京都知恵産業創造の森の職員へ提案する実践的なプロジェクトです。

「KOIN」は起業家やクリエイター、学生、企業の開発担当者など京都を舞台に新しいビジネスや創造的なイベントを仕掛けたい人が、気軽に集まり、出会うための自由なスペースです。

今回は、KOINから出された3つの課題(①KOINにおけるコミュニティ形成案、②KOIN知名度アップのためのキラーコンテンツ案、③KOINブランディング強化のための広報戦略案)の中からチームで1つを選び、解決アイデアを考案し、最終プレゼンテーションに挑みます。

学生たちは、課題の提示を受けた後、実際にKOINを訪問して実地調査をしたり、KOINを運営する担当者にヒアリングを行いながら提案をまとめました。学部の専門性を活かしながら、それぞれの課題に対して「カフェの経営体験」や「オリジナルボードゲームの製作」などのオリジナルアイデアで解決策を提案します。

アイデアや実現可能性などを踏まえ、最優秀賞と優秀賞の発表を行い、KOINにおいて今後、施策検討の参考にさせていただく予定です。

記

●「KOIN」活性化のためのアイデア発表会の概要

日 時: 2022年7月26日(火)11:00~13:00

場 所: 京都経済センター3階「KOIN」(京都市下京区)

提 案 テーマ: KOINにおけるコミュニティ形成案、KOIN知名度アップのためのキラーコンテンツ案、
KOINブランディング強化のための広報戦略案

参 加 学 生: 経済学部2回生15名、経営学部2回生16名(1チーム3、4名の計8チーム)

担 当 教 員: 経営学部 経営学科 准教授・丸山一芳

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当: 花立、多田 TEL.075-574-4112

別紙

●「KOIN」活性化のためのアイデア発表会：当日のスケジュール

日 時：2022年7月26日（火）11:00～13:00
場 所：京都経済センター3階「KOIN」（京都市下京区）

当日のプログラム：

- 11:00～11:05 これまでのプロジェクト進行過程とアイデア発表会の要領説明（教員：丸山）
- 11:05～12:35 学生によるプレゼンテーション（発表8分＋講評3分/1チーム3,4名計8チーム）
- 12:35～12:50 最優秀賞・優秀賞の発表
- 12:50～13:00 京都知恵産業創造の森 専務理事 山下徹朗氏による総合的な講評

●KOIN(Kyoto Open Innovation Network)の概要

京都府、京都市及び京都の産業界のオール京都体制により設立された「一般社団法人 京都知恵産業創造の森」が運営する京都経済センター3階のオープンイノベーションカフェ。

新しい一歩を踏み出す人のための共創の場であり、起業家やクリエイター、デザイナー、コンサルタント、学生、学者、企業の開発担当者、官公庁の方など、京都を舞台に新しいビジネスや創造的なイベントを仕掛けたい人々が気軽に集まり、出会えます。

●担当教員紹介

丸山 一芳（まるやま・かずよし）

所 属：経営学部 経営学科

職 種：准教授

専 門 分 野：知識経営論、イノベーション論、アントレプレナーシップ論

（キーワード：知識、知識創造、企業家、イノベーション、オープンファクトリー）

研究課題（テーマ）：イノベーションシステムとしてのオープンファクトリー、伝統産業のイノベーション、企業家チーム

●クロスオーバー型課題解決プロジェクトの授業概要

受 講 学 生：経済学部、経営学部、工学部の2回生 346名

テ ー マ：組織や社会の実践的な課題に触れることのできる新しいオンキャンパス型の
インターンシップ

到 達 目 標：

- ① 複数学科の学生が越境し合うことで、相互の違いを理解し、その違いを生かしながら一定の期限内に成果を生み出す力を養う
- ② 企業や行政などから提示された実務的な課題に取り組むことで、さらなる知識や技能の獲得に向かう態度と卒業後のキャリアを考える力を養う。これらを通して、専門性への関心を高め、大学でのキャリア開発を促進し、さらには、卒業後のキャリア形成を構想する力や意欲を高める。